

北朝鮮による核実験等について

この度行われた北朝鮮による核実験及びミサイル発射は、核軍縮に向かおうという全世界の潮流の中であって、その動きに逆行し、国際社会に真正面から敵対する重大な挑発行為である。

この行為は、世界唯一の被爆国であるわが国にとって決して容認することはできず、また、日本海を挟んで北朝鮮と相対する位置関係にあり、漁業など日本海を活動の場とする日本海沿岸の県を始めとして、近畿圏域にとっては、住民の安全・安心を脅かし、住民の生活に大きな影響を与え、ひいては住民の生命に関わる重大な事態を招きかねない行為であり、極めて遺憾である。

また、拉致問題については、昨年6月の日朝実務者協議で合意された再調査が未だ着手されず、解決の道筋が不透明な中、北朝鮮のこのような強硬な姿勢には強い懸念を感じる。

政府においては、北朝鮮のたび重なる行為に対し、制裁措置の継続強化など、毅然とした対応をとるとともに、国連安全保障理事会で今回の行為に対する新たな決議を強く要請するなど、国際社会の一員としての責任を果たし、さらには、拉致被害者全員の一刻も早い帰国の実現に向け、政府一体となった取組を行うよう、強く要請する。

平成21年6月2日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川 一誠
三重県知事	野呂 昭彦
滋賀県知事	嘉田 由紀子
京都府知事	山田 啓二
大阪府知事	橋下 徹
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
和歌山県知事	仁坂 吉伸
徳島県知事	飯泉 嘉門
鳥取県知事	平井 伸治